

参考資料

県民・関係者等への普及啓発の強化・多様な主体による監視及び防除の実施

ひょうご生物多様性シンポジウム(仮称)～特定外来生物の拡大防止に向けて～

生物多様性を守り、豊かな自然を未来に引き継ぐためには、若者世代や企業、NPOなど、多様な主体による特定外来生物の拡大防止に向けた取組推進が不可欠

⇒ 県内の高校生や大学生、企業、NPO等を対象にしたシンポジウムを開催し、特定外来生物の拡大防止に向けた普及啓発を強化

若者

NPO

企業

普及啓発

×

取組発表

×

宣言の採択
(行政との連携)

日程・会場

令和7年12月19日・会場は調整中

プログラム

・主催者挨拶 兵庫県知事（仮）

・特別講演

生物多様性の保全と外来種による危機(仮題)

講師：国立研究開発法人国立環境研究所 五箇 公一氏

・生物多様性ひょうご戦略及び県内の特定外来生物の状況説明

兵庫県環境部自然鳥獣共生課

・パネルディスカッション

県内で、特定外来生物の拡大防止活動に取り組む学生やNPO、企業関係者による

取組発表及び五箇先生とのパネルディスカッション

・特定外来生物拡大防止Hyogo宣言(仮)の採択 ～若者、企業、NPO、行政の連携～



多様な主体による監視及び防除の実施

「Hyogo特定外来生物見張り隊」(仮称)の創設

- 特定外来生物による被害拡大を防止するためには、**できるだけ早期に当該生物を発見し対策を講じる**ことが必要です。
- そのため、県内で定着のうえ拡大し、**生態系や農業等へ被害を及ぼす特定外来生物の発見**に努め、**必要に応じて駆除等**を行うボランティア「Hyogo特定外来生物見張り隊」の隊員を募集します。

活 動 内 容

特定外来生物の発見及び県への通報

対象とする生物

生態系や農業等へ大きな被害を及ぼし、安全に見張り等を実施できる以下の生物を対象とします。

- ・ナガエツルノゲイトウ
- ・クビアカツヤカミキリ等



ナガエツルノゲイトウ



クビアカツヤカミキリ

活動期間・場所

- 隊員登録証を受け取った日から
- 兵庫県内

募 集 内 容

- 特定外来生物の防除に関心がある小学1年生以上の方(未成年者は保護者の同意が必要です)
- 地域で活動されている団体**からの応募も可
(団体代表者あてに、当該団体を対象とした「団員登録証」を発行します)

そ の 他

隊員登録した方には、活動を開始するにあたり、**特定外来生物の種類、特性、対応方法等について研修を受講**していただきます。

多様な主体による監視及び防除の実施

特定外来生物対応シビックテック等の促進

- 特定外来生物による被害拡大を防止するためには、**できるだけ早期に当該生物を発見し対策を講じる**ことが必要です。
- そのため、現在運用している**通報フォーム**を利用して情報を寄せていただいた県民に対する**デジタル商品券の進呈等を検討**します。
- 通報後、防除活動の迅速化・効率化を図るため、**専門家等と連携して防除活動を実施できる事業者への委託**についても検討を進めます。

通報フォームの概要

- ・ナガエツルノゲイトウ、クビアカツヤカミキリについては、当該生物やフラスを確認した場合に、スマートフォン等から県へ、県民誰もが即座に情報提供できる通報システムを構築済み
(位置情報や写真機能との連動等、利便性向上に向けた改善を今後実施予定)
- ・提供のあった情報は、直ちに市町とも共有
(通報内容)通報者氏名、連絡先、発見日、発見場所(位置情報)、写真、その他気づいた点

通報者拡大の取組

未発生地域における最初の通報者及び一定期間における通報回数上位者に対するデジタル商品券の進呈等、通報者へのインセンティブを検討

(現状)ナガエツルノゲイトウは**16市町**、クビアカツヤカミキリは**9市**で発生確認



ナガエツルノゲイトウ



クビアカツヤカミキリ

発生の未然防止対策の強化

「桜の木を守ろうプロジェクト」の展開

- 近年、クビアカツヤカミキリによる被害が拡大しており、サクラの樹を伐採するケースが増えています。
- このため、県では、**各地のシンボリックで大切なサクラの樹を守るための取組を強化**します。

概要

- 各地においてシンボリックなサクラの樹（河川沿いや街路樹の桜並木等）をクビアカツヤカミキリから守るため、専門家を派遣し、**事前の被害予防対策を実施**します。
- 周辺の住民等にも周知したうえで、当該地域において**当該カミキリの特性や被害予防手法に係る講習会も開催**します。

(対策内容)

- ①予防対策のネット巻 ②樹幹注入材等の薬剤処理 ③樹皮への薬剤散布



クビアカツヤカミキリ

支援対象

- 応募時点で、当該カミキリムシの被害を受けていないサクラの樹
- 地域の**シンボリックな存在**であり、**当該カミキリムシの被害から長きにわたり守りたい樹**

応募資格等

- **自治会や老人会等各種団体において対象となる樹を選定**し、樹木管理者の許可を得た上で、団体代表者から応募願います。
- 応募締切後、事務局で審査の上、決定します（令和7年度：約30本選定予定）
- 選定樹木には、シンボルツリーとして予防対策実施済みである旨掲示します。

募集時期等

令和7年秋頃～ 募集開始、対象樹木決定、対策開始



専門人材の育成強化・施設管理者等への対策実施の呼びかけ強化

特定外来生物拡大防止 県・市町職員対象研修会の開催

各地域で農業関係者等と接する機会が多く、また公立施設等を管理している県・市町職員を対象とした特定外来生物に関する研修会を開催する

考 え 方

○特定外来生物の拡大防止のためには、地元の関係者等の意見等を踏まえた機動的な対応が必要となる中、

- ①地元の作業者を指導できる専門人材が不足
- ②地域ごとの対策方針を考えられる専門人材が不足

しているが、こうした専門人材については、各地域で幅広く地元の関係者等と接している県・市町職員に対する研修により養成することが効果的

○県・市町が所管する公立施設等についても特定外来生物からの被害を防ぐ必要がある中、施設管理者等に当該生物に対する知識等が不足しており、主体的な防除が実施できていない

研修会概要

- | | |
|---------|---|
| 1 対象者 | 県・市町職員(農家等関係者と接する機会が多い職員、公立施設を所管している職員等) |
| 2 日程・会場 | 今後調整 |
| 3 定 員 | 約500名 |
| 4 内 容 | ①これまでの県の取組
②特定外来生物(特にカ ^ダ ヱ ^ル ガ ^イ ト ^ウ 、ク ^レ ア ^カ ツ ^カ ミ ^キ)の見分け方、特性、防除対策等
③質疑応答 |